

# わたしたちの地域シリーズ 第4回 多様につながるまち 西区

札幌市西区には4つのワーカーズがあります。子どもからお年寄りへの支援、居場所、食事の提供など直接ケアを届ける事業。障がいや高齢など、生きづらさを抱えた方々への相談事業。取材や紙面づくりを通して、地域課題の解決の糸口を発信する事業。今回は、多様なワーカーズが地域の中で連携した取り組みを紹介します。

〈ちいさなおうち〉が食育のサンプル弁当として、〈なす菜〉に子ども向けのお弁当を依頼

## (N) ワーカーズ・コレクティブ ちいさなおうち

2006年設立 共同代表：古川 幸代・山本 靖子

### 設立の目的や想い

私たちは、障がいの度合いや年齢による壁をとりはらい、互いに手を携えていける環境づくりをめざしています。そして、誰もが地域で安心して暮らすことができるように、地域住民の立場に立った支援をしたいと願っています。地域に根ざし、自分たちに必要なサービスは自分たちで創り出すという主体的な地域環境づくりに努めるため、会を立ち上げました。

### 現在の事業内容 ※コロナ禍のため、活動の一部を自粛しています。

- ・子育てひろば（札幌市指定地域子育て支援拠点）（火～土曜日）
- ・一時保育（随時）
- ・児童発達支援事業・放課後等デイサービス（月～金曜日）
- ・自主事業として、幼児クラブ・ミシンカフェ・ピラティスなど
- ・シニアサロンのんの（月・木曜日）

### 実践している地域とのつながり

西保健センターからの見学・実習受け入れや、問合せ相談を受けて地域の子育て家族のサポートを行っています。また毎年、町内会の夏祭りのお手伝いで、子どもコーナーを担当しています。



ママたちには「実家に来たようでホッとする」と言われます（子育てひろば）

そのほか、札幌市自立支援協議会西区地域部会において、子ども部会のメンバーとして研修や見学会を組み立て、運営を担っています。

ママたちには「実家に来たようでホッとする」と言われます（子育てひろば）

・〈プランズ EPO〉から〈ちいさなおうち〉に、働きたい人を紹介  
・〈プランズ EPO〉発行の『ちさろ』に、〈ちいさなおうち〉の事業を掲載

## 企業組合ワーカーズ・宅配弁当なす菜

1999年設立 代表：森浦 久美子

### 設立の目的や想い

地域の中で何ができるか考え、ボランティアで高齢者にお弁当を配りました。その時の「ありがとう」の言葉が励みとなり、事業としてお弁当の宅配を始めました。地域の方々に、安心して食べられる、手作りのおいしいお弁当を届けたいという気持ちで、日々活動しています。

### 現在の事業内容

弁当・総菜の宅配、オードブルの調理、高齢者配食（札幌市からの委託事業）等。

### 実践している地域とのつながり

食事作りが困難な方に、気軽にご注文頂けるよう、お弁当1個からお届けしています。

札幌市の高齢者配食サービス事業に参加し、単身者や孤立しがちな高齢者の見守りや栄養的に支えていく役割も担っています。

小学生の職場体験を受け入れたことがきっかけで、保護者の方からの注文を受け、父母会や幼稚園の行事等で利用していただいています。また、こども食堂へはイベント用持ち帰り弁当作成等で、協力と支援をしています。



つながったね！

〈なす菜〉の活動内容やお弁当の詳細を伝えるチラシ・リーフレットを〈プランズ EPO〉が作成

- ・放課後等デイサービスなどの受け入れ相談、利用者のモニタリング
- ・札幌市自立支援協議会西区地域部会の構成員として、研修会や交流会等を通して情報交換

## ワーカーズ・コレクティブ プランズEPO

2006年設立 代表：谷山 真佐枝

### 設立の目的や想い

本格的な餃子や梅干しづくりが得意な方を講師に招き、地域の方々のスキルをみんなで共有する講座を企画するワーカーズとして設立。その後、生活クラブ生協の機関誌などの編集事業や共同購入に伴う事務も行うようになりました。今も地域に有益な情報を発信する活動をしています。

### 現在の事業内容

- ・編集（カタログ、機関誌、チラシ、冊子等の作成）
- ・ワーカーズの周年記念誌の作成
- ・生活クラブ共同購入に伴う事務
- ・印刷（生活クラブニュースなど）
- ・動画作成

### 実践している地域とのつながり

3年前からボランティアとして、孤立予防を目的とした地域サロン情報誌「ちさろ」を年2回作成し、無料配布しています。子育て中の親子、シニアの集まり、多世代交流など、気軽に集まれるサロンやコミュニティカフェなどの情報を掲載しています。

現在は、コロナ禍でも工夫しながら開催している団体や、住民同士のたすけあい活動の様子を紹介しています。



「こんな冊子が欲しかった」など、読者の方からいただく電話も励みになっています

- ・〈ふたごの木〉から紹介された子育て中の女性が〈なす菜〉のスタッフに
- ・〈ふたごの木〉から〈なす菜〉に、障がい者（単身生活者）への配食を相談

## (N) たすけあいワーカーズ ふたごの木

1998年設立 代表：谷川 礼子

### 設立の目的や想い

生活クラブ生協の委員活動をしていた私たちにできることは何か？ 地域で役に立てることがあれば、と考えました。そして、障がいがあってもなくても、自分らしく地域で暮らすためのお手伝いと、たすけあいの自主事業を、任意団体として開始しました。

### 現在の事業内容

介護保険・障がい福祉サービスとして、居宅での直接支援事業を経てケアマネ・障がい者の相談支援業務へと移行。現在は「札幌市障がい者相談支援事業所」として札幌市からの委託を受け、相談支援事業に特化して業務を行っています。

### 実践している地域とのつながり

自立支援協議会西区地域部会の事務局（委託相談支援事業所）として、地域住民、医療・介護従事者、民生委員、福祉事業所、当事者・家族等と連携し、地域の課題や社会資源の開発、交流会、地域住民へ障がい者の理解啓発活動（写真）などを行っています。

自主活動では「生涯学習交流拠点フリートーク&コミュニケーションしゃべりあ」（ちえりあ企画運営参画）、「地域交流 P's Bar」（社会資源開発）の企画運営など、誰もが楽しめる交流会を開きました。



出張無料相談会（「ちえりあ」にて）

・〈プランズ EPO〉発行の『ちさろ』の取材先（札幌市生活就労支援センター・ステップ）に、〈ふたごの木〉が繋がった  
・地域活動の情報交換